

議会だより

# しょうわ

2009.10.22

No. 143

山梨県昭和田議会ホームページ  
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



|                         |    |
|-------------------------|----|
| 20年度決算のあらまし .....       | 2  |
| 町のお金、こう使われました .....     | 3  |
| 決算審査報告 .....            | 5  |
| 委員会質疑 .....             | 8  |
| 8議員が一般質問 .....          | 10 |
| 追跡 あの質問はどうなった? .....    | 19 |
| 井戸端会議(住民・議員の対話集会) ..... | 20 |

— 押原小運動会 —  
力をあわせて



# 平成20年度決算 の成果を認定!

## 決算議会 9月定例会



町民1人あたり  
約50万円

特別会計を含めると  
約70万円使いました。

H21.4.1現在  
人口 16,850人

### 平成20年度決算のあらまし

一般会計は約84億3,799万円、特別会計は国民健康保険など7つの会計を合わせて、約33億8,461万円となり、合計約118億2,261万円の歳出決算となりました。19年度と比べて約4%減少しています。

これに対して歳入決算は歳出決算を約8億6,034万円上回る、約126億8,296万円となりました。

平成21年9月定例会は、9月8日から18日まで11日間の会期で開かれました。この議会には町長提出の平成20年度一般会計および特別会計決算8件をはじめ、補正予算4件、条例の制定・改正2件、教育委員など人事の同意2件の合計16件が提出されました。このほか報告が3件ありました。決算は全議員で構成する決算審査特別委員会（萩

原馨委員長）に付託され、3日間にわたって集中審議の上認定しました。

他の議案は各常任委員会で審査の結果、いずれも原案とおり承認、可決しました。8日の一般質問には8人の議員が立ち、行政改革、福祉保健、教育、環境など町政の課題について幅広く質問を展開し、町の考えをたえました。

## 平成20年度一般会計

|          |            |
|----------|------------|
| 歳入(財源)   | 91億1,370万円 |
| 歳出(使いみち) | 84億3,799万円 |
| 繰越金      | 3億2,180万円  |
| 実質収支     | 3億5,390万円  |

(単位：千円以下切捨て)

賛成14:反対1で可決

# 84億円

## 〈一般会計のなかみ〉 町の予算はこうに使われました

( )内は対前年度比

### ●土木費



126,487円  
(-26,379円)

### ●民生費



94,698円  
(+3,566円)

### ●教育費



70,392円  
(-41,229円)

### ●総務費



55,402円  
(+3,927円)

### ●衛生費



29,126円  
(-2,116円)

### ●公債費 (借金返済)



28,499円  
(-444円)

### ●農林水産業・ 商工・労働費



5,153円  
(-2,116円)

### ●議会費



4,901円  
(+181円)

### ●諸支出金 (積立金ほか)



67,780円  
(+39,003円)

### ■町債(借金)の累計残額

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 【一般】    | 65億0,313万円<br>(1人当たり 385,942円) |
| 【下水道事業】 | 61億4,787万円<br>(1人当たり 365,082円) |
| 【国保】    | 1,654万円<br>(1人当たり 981円)        |

【合計】 126億7,132万円  
(1人当たり 752,000円)

■基金の累計残額 30億5,353万円  
(1人当たり 181,218円)

# 20年度 決算質疑

## 滞納整理の 推進強化を

20年度一般会計および7つの特別会計の歳入歳出決算の質疑では、税金などの滞納処分の方や町政運営にかかる経費の見直しなど、議員からさまざまな意見や要望が提案されました。

その中の一部をご紹介します。

**税の滞納は専門課を  
設けるべきでは！**

**志村議員** 不納欠損で、努力しているのは分かるが、毎年増えているのだから、もっと厳しくやっていくべき。専門課を設ける考えはないのか。

**総務課長** 収納課の必要性・公平性はわかっている。ので設置したいが、職員が5〜6人必要になり、学校建設関係・公園建設関係の職員を縮小し、定員管理の中で検討していくために、もう少し時間を下さい。

**国母工業会との  
連携を深めて！**

**福島議員** 町の税収の多くを企業からいただいているのだから、もっと交流をしていくべき。今まであぐらをかいていたのではないかな。少しでも、内々で話ができるようにしてほしい。

**田中議員** 工業会との活動を予算化して、町民にも見えるようにしてほしい。雇用対策についても、工業会にできるだけ地元の人を採用するよう、お願いしてほしい。

**電柱占用料を  
いただいたら！**

**福島議員** 各区の町道の上に立っている電柱を占用するための料金を東電に払っているが、町は電柱の占用料を東電からもらっているのか。

**企画財政課長** 電柱の占用料を現在町は取っていない。他市町村では取っている所もあり、前々から課題となっている。占用料の徴収条例はなく、今後、庁内で検討する。



決算審査特別委員会での質疑

### 平成20年度特別会計決算

(単位：千円以下切捨て)

| 会 計 名       | 歳入総額       | 歳出総額       | 結果          |
|-------------|------------|------------|-------------|
| 国民健康保険特別会計  | 15億2,494万円 | 13億8,060万円 | 14:1<br>で可決 |
| 老人保健特別会計    | 1億3,558万円  | 1億1,594万円  | 全員賛成で可決     |
| 後期高齢者医療特別会計 | 9,924万円    | 9,834万円    |             |
| 介護保険特別会計    | 5億5,568万円  | 5億4,644万円  |             |
| 介護サービス特別会計  | 1,124万円    | 1,086万円    |             |
| 下水道事業特別会計   | 12億3,599万円 | 12億2,694万円 |             |
| 渇水対策事業特別会計  | 654万円      | 546万円      |             |

# 町財政の健全性を証明

## 〈平成20年度昭和町財政健全化判断比率の報告〉

財政健全化法に基づき、昭和町財政の健全化判断基準にもとづく数値を、監査委員の意見を付して報告するものです。

### 財政力指数（3カ年平均）1.47

(%)

| 基準<br>比較 | 実質公債費<br>比 率 | 将来負担<br>比 率 |
|----------|--------------|-------------|
| 昭和町      | 9.0          | 32.1        |
| 県平均      | 15.4         | 101.9       |
| 甲府市      | 16.7         | 108.7       |
| 中央市      | 16.6         | 113.0       |
| 甲斐市      | 15.5         | 60.2        |
| 南アルプス市   | 16.2         | 84.0        |

#### ■実質公債比率（少ないほど良い）

町の標準財政規模（約49億5,359万円）に占める借金返済額を示す率。18%を超えると、起債（借金）の際に知事の許可が必要。25%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

#### ■将来負担比率

市町村が将来返済しなければならない負債の標準財政規模に対する割合を示した率。350%を超えると早期健全化が求められる団体となる。

実質赤字比率・連結赤字比率は、赤字団体ではないので、数値はない。公営企業の資金不足比率についても、資金不足はないので数値はない。

### 20年度決算

#### 監査委員の決算審査意見

#### 公平な税徴収に 全庁挙げて取り組みを

監査委員  
内藤 寛之  
山田 昇

平成21年8月17日から21日まで5日間にわたり、平成20年度昭和町一般会計決算と7特別会計決算および財産台帳、関係書類について審査しました。

#### 審査の結果および意見

(要旨)

各決算とも適法かつ正確に処理されており、内容も適正なものと認めた。

①経常経費をはじめ経費の節減に今後とも前向きに取り組む、特に各種事務の合理化などに全庁的取り組みを期待する。

②町民税をはじめ固定資産税、国保税、介護保険料、給食費、町営住宅使用料、下水道使用料などの滞納が年々増加し、不納欠損額も多大になっている。徴

収率の向上に取り組んでいるが、全庁挙げて一層の工夫と努力を期待する。

③担当課は事業の進捗を常に把握して、完成が遅れないよう配慮されたい。

④年度末の不用額が多い課が見受けられるが、早めの減額補正をすべきである。

⑤国の方針による補助金の引き下げなど、財政事情はますます厳しくなることが予想されるが、少子高齢化を迎える本町も今後行政需要が多様化し、増加することは必至である。事業推進は地域の実態と住民の意向や要望を把握し、将来を見通し、町民のための事業実現に努力するよう要望する。



# 決まりました

## 平成21年度9月補正予算

一般会計補正予算 3億3,389万円を追加

全員賛成  
で可決

総額74億5,093万円

### 【歳出の主なもの】

- ・財政調整基金への積立金（貯金） 2億1,934万円
- ・法人町民税の過誤納償還金 3,000万円
- ・子育て応援特別手当など次世代育成支援 2,595万円
- ・押原公園外周道路・上水道工事 1,700万円
- ・道水路新設改良費 1,220万円
- ・小中学校の施設整備費 1,155万円
- ・温水プールの暖房機取替工事など 951万円

### 【財源の主なもの】

- ・前年度からの繰越金 3億2,390万円
- ・特別会計からの繰入金 7,327万円
- ・国庫補助金 3,098万円
- ・町債（借金） 1,710万円
- ・町税 ▲1億1,199万円

### 歳出は

国の施策である子育て応援特別手当交付金、学校情報通信技術整備事業費補助金等予算計上。各区公会堂の耐震補強工事費の補助金、商工会館施設整備助成金、都市公園事業費など緊急性の高い事業を補正増しました。

### 歳入は

景気の低迷による法人町民税の見込み減による町税の減額、国庫支出金で、子育て応援特別手当交付金、学校情報通信技術整備事業費補助金等、また、前年度繰越金及び起債が確定しましたので増額したのが主な内容です。

## 国民健康保険特別会計 1億2,755万円を追加

総額 16億295万円

おもな支出

- 一般保険者の療養給付費、高額療養費、出産育児一時金など 9,016万円
- 基金の積み立て 1,200万円

## 老人保健特別会計 1,801万円を追加

総額 3,511万円

おもな支出

- 平成20年度決算の確定により残った額を一般会計へ繰り出す 1,762万円

## 介護保険特別会計 999万円を追加

総額 5億8,349万円

おもな支出

- 平成20年度決算の確定により残った額を一般会計へ繰り出す 423万円
- 介護サービスなどの保険給付交付金 398万円



すくすく育て昭和の子どもたち

# 9月定例会で こんなことが

## 人 事

教育委員に

齋藤満智子さん



(再任)

押越区在住 任期4年間

\*\*\*\*\*

固定資産評価審査  
委員に

磯部 寛さん



(再任)

上河東区在住 任期3年間

※全員賛成で選任に同意

## 条例の改正

国民健康保険条例の改正

・出産育児一時金

現在の38万円から原則42万円に増額します。

(平成21年10月1日～平成23年3月31日までの時限立法)

## 条例の整備

健康保険法の改正に伴う条例整備

例として、70歳未満の人の場合で、国民健康保険に



9月末、西条小児童が議場を見学に訪れました

## 議会のうごき

### 8月

- 4日 昭和町ふるさとづくり推進委員会
  - 6日 リニア中央エクスプレス甲府圏域建設促進協議会総会
  - 7日 甲府広域議員懇話会
  - 10日 議会第3回臨時会
  - 19日 二市一町正副議長・事務局員会議
  - 21日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会
  - 25・26日 町村議会広報研修会
  - 28日 全員協議会
- (字界と井戸端会議の課題協議)

### 9月

- 2日 町村議会議員研修会
- (議会の新しい役割)
- 3・4日 山梨学院大提携に伴う議員研修会
- (自律自治体の形成)
- 8・18日 議会第3回定例会
- 18日 秋の交通安全出発式
- 25日 農産物直売所に関する意見交換会

### 10月

- 1日 井戸端会議(西条二区)
- 2日 山梨学院大提携に伴う議員研修会
- (地域福祉政策)

加入し、1ヵ月8万100円以上の高額医療費を払っている人が、なおかつ介護保険を使っている場合で、年間67万円以上の支払いをしたときに、67万円以上支払った金額を各保険で負担するという条例の制定です。

その他、子育て支援・重度心身障害者・ひとり親家庭などの医療費についても助成するという制度の条例整備です。

(その他)  
請願、意見書等の要望はありませんでした。

# 9月定例会 委員会質疑

議案をさらに細かく各委員会で  
徹底審査を行いました。

## 総務常任委員会

### 「財政」

**三井議員** 臨時財政対策債は主にどういった面に使うのか。

**企画財政課長** 事業の目的起債と違い、一般事業費等の財政不足として借入できる。  
**三井議員** 限度額まで借りても、返さなくていいというのを聞いたが、交付・不交付団体で違いがあるのか。  
**企画財政課長** 配分は違い、返済はある。

### 「各地区公会堂の耐震」

**山田議員** 清水新居区だけでなく各公会堂の耐震も調べているのか。

**企画財政課長** 基本的に昭和56年以前の公会堂が対象。清水新居区から申請があり、耐震に問題があった。他の公会堂は区長会で周知して対応する。

**深澤議員** 耐震で、基準は1・0以下ということだが、マダニチュードいくつを対象としているのか。

耐震工事を行う清水新居区公民館



**企画財政課長** 建築基準法の震度7を基準としている。

### 「行政界」

**野中議員** 南アルプス市との行政界だが、境界未定地はなにを基準にするのか。

**企画財政課長** 総務課や建設課など関係各部署合同で詰めている。南アルプス市が地籍調査をしていないので、それを確定していかないと境が分からない。行政界の変更は議会の議決が必要になる。

**樋口議員** 中央市と昭和町の境界は問題ないか。

**企画財政課長** 中央市・甲斐市は地籍調査が終わり、協議しているので問題ない。

### 「町税」

**深澤議員** 税収、当初の町民税で個人分についてどう考えているか。固定資産税は土地評価が下がっているのに、税収が上がっているのはなぜか。

**税務課長** 個人分は確定税収とほぼ変わらない。土地評価は下がっているが、大規模の建築があった分と償却資産がある企業があったため、税収が増加した。

### 「防災対策」

**三井議員** 緊急地震情報の接続はどうなっているのか。

**企画財政課長** 緊急地震警報の設備はあるが、現在防災行政無線工事のため、来年1月ころには、緊急地震速報は接続する。

**三井議員** 防災計画では、押原公園が防災公園となっているが、ヘリコプターの離発着に押原公園や常永小が載っていないかった。また、危険物などについても見直しが行われているか。

**企画財政課長** ヘリの離発着の予定はあるが、公園がまだ完成していないので載せていない。危険物についても、毎年見直ししている。なので、その都度変更している。

**河住議員** 防災計画の役場職員の配備体制は。

**企画財政課長** 震度4で企画財政課と建設課と下水道課が参集。震度5弱で全員参集となっている。

## 産業土木常任委員会

### 「環境緑化」

**志村議員** 花の苗はどこに植えるのか。昭和バイパス沿い常永川の河川敷には、中央市は綺麗に花を植えている。昭和町には植えていないが。



昭和バイパス沿いのコスモス

**環境経済課長** 飯喰・河西でコスモスをこれから植えていく。その他の地区にも植える予定。

**志村議員** コスモスもいいが、一時期だけでなく、一年中綺麗にする考えは。  
**環境経済課長** 今後、区長と話し合いたい。



## 「押原公園外周道路整備」

**浅川議長** 外周道路整備費には街路灯・フェンスは含まれているのか。

**都市整備課長** 街路灯は含まれていない。安全設備は含まれている。電線が地中化しており、今後検討する。

**田中議員** 押原公園の整備は、これ以上の支出が出るのか。

**都市整備課長** 今後、街路灯の問題を検討し対応したい。それにより支出が出ます。

※街路灯は、南側は普通の街路灯が側道にあるので、ソーラーのものしか付いていない。明るさは、バッテリーなど交換し検討する。

## 「区画整理」

**塚原議員** 常永土地区画整理事業で保留地を販売しており、今後は新しい住民が多くなる。転入時に区の話や組に入ることを指導し、参加を促して欲しい。

**区画整理課長** 各地区の説明はしているが、区費など詳しい話はしていない。今後は区画整理組合にも指導する。

**山田議員** 常永土地区画整理事業の街路樹の植栽は、何を植えるのか。

**内藤課長** ハナミズキを植える予定。

## 「下水道整備」

**河住議員** 中央市との境界の上河東二区下水道工事はどうか。

中央市は進んでいるようだが、**下水道課長** 協議中。中央市は設計の発注まで進んでいると聞いている。昭和町はまだそこまで進んでいない。

## 教育厚生常任委員会

◆ **萩原議員** 保育園の入園説明の日程と、待機児童はいるか。

◆ **福祉課長** 日程は確定していない。例年通り11月を予定7園に増えたこともあり待機児童はいない。

◆ **樋口議員** 母子家庭はどのくらい増えているか。

◆ **福祉課長** 増えているが、住民票などから拾うことが難しく、正確な数は把握していない。ひとり親の申請は前年度から横ばいで140世帯。

## 水源対策特別委員会

### ●地盤沈下の状況報告

昭和町地内の4カ所で調査を行ってきたが、ここ1年間では1mmから2mm程度の沈下の報告を受けた。

地盤沈下調査箇所（4カ所）

※西条・カインズホーム前

※飯喰・JA常永支所前

※上河東・タイヤ専門店昭和町前

※紙漉阿原国母工業団地公園内



完成がたれる押原公園

## 地方分権対策特別委員会

### 「行政区制度改革」

区への交付金制度、役場職員の地区担当制、行政と住民の協働のあり方について議論

**深澤議員** 各区を役場職員が担当する「担当職員制」の意図はわかるが、もっと検討の余地がある。町職員に本来の職務以外に各区を担当させるのは、心身ともに負担だ。専門の課を設置して任務を負うほうがよいのでは。

**総務課長** 行政が各区にとって本当に必要なものやすることになると、今までの区と行政のやり方では足りないと感じる。職員の配置を1地区2人体制とし、職員の負担はカバーできる。40歳代の行政経験豊かな係長が区に入ること、新たな刺激や経験になる。担当制でなく支援課ということもあるが、それは、担当制で始めてみて、結果により切り換えることも視野に入れている。



住基カード研究会による活動報告



**浅川議長** 議論をしながらも進まないのか、この形態を受け入れる区があったらモデル地区としてやってみるのもよいではないか。

**総務課長** 受け入れができる地区は実施するが、できない地区は今までどおり。要望のある地区は早く行うよう段階的に考えていきたい。

# ここが聞きたい

「一問一答方式」により8人の議員が幅広く質問を展開しました。

(再質問・関連質問を含み要約)

本会議の議事録はホームページで  
検索できます。  
議会事務局でも閲覧できます。

## Q 総合計画・実施計画は

**塩澤** 地方税減収が大きいですが、総合計画  
3カ年実施計画に影響がないか。  
考えを示してほしい。

### A 十分検討し取り組む

**町長** 景気後退に伴う減収で緊縮予算  
だが、総合計画の実施計画でも  
従来の体質を改め、中長期的な財政計画  
の修正が必要だ。常永土地区画整理事業も、  
組合の資金計画を考えていく。新規事業  
の必要性など、十分に検討を加え取り組  
んでいきたい。

常永土地区画整理地内では  
住宅建設が進んでいます



## 一般質問

## Q 区画整理の課税徴収は

**塩澤** イオンモールの出店が1年延期されたが、  
固定資産税などの課税方法はどうなるか。

### A 地目に応じ土地課税

**町長** 宅地・雑種地は路線化評価方式による課税、農地は地方税法の規定  
で一般農地に準じた課税となる。今後、土地活用の参考となるよう、  
各地目に応じた標準的土地課税額を例示した資料を、地権者に配布したい。



しおざわ  
塩澤

ひろし  
浩 議員

## Q 区画整理課の役割は

**塩澤** 常永地区区画整理事業は、土地地区画整理組合が主体の事  
業だが、担当課の努力で5億円ほど軽減できたと聞く。  
将来的にはいかがか。

### A 行政指導の組合事業で推進

**町長** 常永土地区画整理事業は、20年3月設立、区画整理課・組合と一体で、  
行政指導型の組合事業で進めている。まちづくり交付金や地域活力  
基盤創造交付金を有効活用し、今後も努力していきたい。

# 施策を問う



たなか ひろよし  
田中 博愛 議員

## Q いきがいクラブの組織強化取り組みは

**田中** 県下老人クラブの会員が過去最少との報道があった。昭和町でもいきがいクラブが休会や解散に追い込まれる支部もあると聞く。個人の事情でなかなか会員に入ってもらえない現状だが、地域を支える経験豊富な組織が健全であるためにも、真剣に考える必要がある。65歳以上の会員の割合は、対象者2,651人中、いきがいクラブ会員は508人、19%と低い加入率だ。

少子高齢化社会の到来に向け、行政の積極的な支援が必要だが、昭和町「いきがいクラブ」の組織強化に、どのように取り組むのか伺う。

## A 高齢者の活力生かし積極支援

**町長** 全国的に老人クラブの会員加入率が低下し、高齢化が進む中で皮肉な現象となっているが、本町では単位クラブが地区ごとに設置され、高齢者率から比べると若干の増加傾向にある。

増加率の高い地区と低い地区の差が出ているが、いきがいクラブの組織強化に向け、専門部などの活動内容の見直し、啓発・啓蒙に力を入れ、単位クラブの支部活動内容や独自の取り組みで意識改革や問題点を検討し、会員加入を促進していきたい。高齢者の持つ活力を生かし、豊かな地域づくりに貢献していただければ、積極的な支援を行っていきたい。



高齢者も参加し、大盛況だった昭和町ふるさとふれあい祭り





町長による地区懇談会（河東中島区）



三井 猛 議員

## Q 行政区制度改革は

**三井** 行政区制度改革の内容は、補助金の整理統合（区の発想で自由に使える）、財源と権限の移譲（身近な環境整備を自分たちでする）、区担当職員の配置（区の自主的な運営を支える）だが。

- ①行政区制度改革は、区側の意見も含め、どのような方向性が見えてきたか。
- ②区担当職員の配置は、まちづくりのパートナーシップ制度だが、行政による区への「協働」の押し付けにならないか。また、区の運営にかかる具体的業務内容、会議への出席回数はどのくらいを考えているのか。
- ③職員の行政サービスの低下や、区担当係長に対する役場内でのサポート体制はどうか。
- ④地域要請の回答に関する条例、実施要綱を定める必要があるが、制度導入の実施時期は。

## A 協働の町づくりを推進

**町長** ①補助金の整理統合は、一本化で区の裁量が広がることや、運営がしやすくなることから、多くの区で町の方針に理解いただいている。

②職員と区民が協働していく町の姿勢は、高く評価していただいている。財源と権限の移譲は、補助金の一本化が円滑に進んだ後の検討課題で、今後は課題や心配事の解決策を講じながら、地区担当職員制度の詳細を詰めていきたい。

③職員は地域自治活動を担い、行政事務と地域づくりのパイプ・調整役として、協働のまちづくりが推進されるが、町との調整が役割で、雑用が仕事ではないと考える。

④職務や任期等を定めた実施要綱などのルールを策定し、来年度半ばくらいからスタートするが、区と職員にとってプラスになる成果を出してくれるだろうと期待している。

## Q 受領委任払い制度の活用は

**河住**

介護保険の住宅改修費は、被保険者が全額を支払い、その後保険給付分（9割）の支給を受ける償還払いだが、利用者負担が始めから1割ですむ受領委任払い制度にすべきだ。

①当初の制度利用状況と、しなくなった理由は、  
②制度活用をどのように考えるか。

## A 喜ばれる制度にしたい

**町長**

①制度の利用者数は、平成14年度には9人、15、17年度が1人と減少している。制度活用には事前協議が必要で、介護サービス提供事業者が、経費を一時的に立て替えるケースもあり、利用者が減少している。

②広報誌やケアマネージャー研修会等で周知徹底を図り、喜ばれる制度にしたい。



介護保険を利用して手すりを設置



かわすみ やすしげ  
河住 保茂 議員

## Q 付属機関の見直しは

**河住**

町には条例や法令に基づく付属機関と、私的諮問機関がある。見直しの必要性と、町の考えは。

## A 公平・公正な立場で審議

**町長**

町では、幅広い意見や専門的知識を町政に反映し、行政の透明性を図るため、「付属機関」などを設置している。「付属機関等設置および運営に関する基本方針」を定めており、女性の登用や公募制委員の検討もしている。委員は公平・公正な立場で町全体のことを考え発言していただいているので、意見が偏ることはないと考えている。議会内部でも、議員の審議会参加について検討いただいている。

## Q 校庭の芝生化について

**樋口** 議会が実施している井戸端会議の中で、甲府昭和高校・各小中学校校庭の砂ぼこりを何とかしてほしいという意見があった。県内の小学校では芝の校庭が数校あり、今後も各小学校に推進していく予定と聞く。町内の3小学校の校庭に芝を張ることにより、砂ぼこりの防止や怪我也少なくなり、地表温度を下げ、環境教育・緑化推進にもつながると思うが、町の考えは。



押原中学校



押原小学校



甲府昭和高校



常永小学校



西条小学校

各学校の校庭



ひぐち としお  
**樋口 敏夫 議員**

## A 管理面も研究し関係者と協議

**教育長** 町ではこれまで、防砂植樹やフェンスの設置、校庭への散水などの対応策を行ったが、決め手がなく現在に至っている。芝生化は「施工・管理に経費がかかる」「養生期間中校庭が使えない」「芝刈り、雑草除去、散水等の管理が大変」などのハードルがあり、実現できていない。

新しい手法で芝生化を実現しているところもあり、児童・教職員・保護者などの協力で「校庭の芝生を育てる会」などの支援組織を立ち上げ、芝生化は全国的に広がっている。

芝生化にはメリット、デメリットがあるが、昨今の経済情勢や補助金の活用等、管理面等もよく研究し、関係者と協議し検討していきたい。



# Q 食育は推進計画で 総合的かつ計画的に

**保坂** 食の多様化・情報化で、健全な食生活を危惧し、国は「食育基本法」を施行、併せて「食育推進基本計画」を策定した。市町村においても基本計画を策定し、食育を国民運動に位置づけて推進することになっている。町民の食育を総合的かつ計画的に推進していくために「食育推進計画」の策定を提案する。

## A 食育推進計画を来年度に策定

**町長** 栄養の偏り、食生活の乱れが目立ち、肥満や生活習慣病の増加などの問題を起している。食に関する情報の氾濫などで、健全な食生活の実現に関する知識や判断能力が低下しているが、食育の推進は実践的であるよう配慮し、町民の心身の増進、人間形成を目指していきたい。食育推進計画の策定は、関係団体の協力をいただき、来年度に策定したい。



ほ さか て る こ  
保坂 明子 議員



給食センター事務室

# Q 学校の食育は 栄養教諭中心に

**保坂** 食育は教育活動の一環として実施されてきたが、地域・家庭と連携し、学校における食育を進めることが重要だ。学校の食育推進のため、栄養教諭を採用する考えは。

## A 栄養教諭の配置に努力する

**教育長** 本町の給食センターには栄養職員が2人配置され、食育教育の一端を担っている。県内の有資格者は数人で、全市町村への配置は不可能だが、学校の食育推進のために、県教委に働きかけ、栄養教諭の配置に努力していく。

## Q 生ごみ処理は

**深澤** 生ごみ処理については、これまで何回となく提案しておいた。この問題について当局の「研究」は進んでいるか。

### A 広域的な課題として協議・検討

**町長** 生ごみの堆肥化は、資源の有効活用につながるが、堆肥化処理施設の建設などが必要で、広域的な課題として協議・検討できるよう提案していきたい。電動生ごみ処理機の購入補助は、制度の充実拡大を検討しながら、生ごみ減量化の推進を図ってきたい。



給食センターでは残飯を堆肥にしてふれあい祭りなどで町民に配布しています



ふかさわ へいすけ  
**深澤 平助 議員**

## Q 生活保護を問う

**深澤** 生活保護世帯は全国で120万世帯、人数は166万人といわれる。  
①生活保護の相談に来る人は、極度に困窮し、「どうして生きていくか」と、いう切羽詰った状態の人たちだ。行政はその人の立場に配慮し、より親切・丁寧に対応することが必要だ。  
②国の通達に固執することなく、内容に沿った対応を求める。  
③生活困窮者のために、社会福祉協議会の「生活つなぎ資金」の貸し出し枠を広げ、10万円にすることが必要だ。

### A 福祉金庫を存続・運営する

**町長** ①その人が「何ができるか」を判断し、個々の事情に応じて相談・対応を行っている。  
②職を失った保護申請者には、通常の手順で審査後、法定期限内での適切な処理に努められたいとの指導を受けており、これに準じ対応する。  
③増額は考えていないが、他市町にはない貸付制度事業を、できる限り存続・運営していく。

## Q 就学援助費の支給方法に考慮を

**河田** 小中学校の教材費や給食費への就学援助費は、保護者が一度納入してから年2回に分けて保護者に支給されている。保護者からは改善を望む声があると思うが、当局としてどのように考えるか。個々の生活状況から見ると、大きい負担になるので、給食費だけでも委任払いにできないか。

## A 給食費委任払いは検討

**教育長** 現在そうした要望はないが、事務手続き上、申請から認定まで日数を要し、前もって支給することは困難だが、生活保護費や他制度も含め、慎重に対応したい。給食費の委任払いの可能性は検討したい。



給食センターでは毎日1,860食の給食をつくっています



かわだ 河田あけみ 議員

## Q 薬物から若者を守れ

**河田** 最近特に、覚せい剤や大麻使用などが社会問題になっている。薬物の恐ろしさを教えるのは、小学校から中学2年生くらいまでがベストと聞く。薬物から若者を守るため、全国的に「薬物乱用防止の専用キャラバンカー」が広報活動している。本町の教育現場でも、この機会にキャラバンカーを活用してはどうか。

## A パンフレットや講演会で啓発に努める

**教育長** 薬物乱用防止のビデオ貸し出し、パンフレット配布や講演会などを通じ啓発に努めている。キャラバンカーは教材として有意義なので、活用に向け学校と協議したい。



キャラバンカー

## Q 「ヒブワクチン」の

## 定期接種化を

**河田** ヒブ菌が原因の細菌性髄膜炎の予防はワクチンが有効だが、子育て支援の一環として、接種費用の一部助成を提案する。

## A 今後の課題としたい

**町長** 1歳児までの発症率が高く、後遺症が残ることがある。現在、ヒブワクチンの流通が制限され、待機する乳幼児が増える可能性もあり、今後の課題としたい。



# 視察研修報告

## 広報編集特別委員会

### 町村議会広報研修会に参加

親しまれ、読みやすい議会だより  
関心の高い議会活動を目指して！



全国議会広報クリニック研修

8月25・26日 東京都内で  
全国町村議会議長会主催に  
よる議会広報研修会が開催  
され、町議会と事務局から  
7人が参加、全国では  
528人が参加して実施さ

れました。

毎年実施されている研修  
会ですが、関心の高いのは「議  
会広報クリニック」という  
講義で、議会広報誌を専門  
家がクリニック（診断）す  
る内容です。

クリニックを含め、講義  
全体で指摘していることは、  
①議事公開は十分か、記事  
の適切な選択はどうか。（記  
事の4本柱Ⅱ一般質問、議  
案審議 議決活動 住民参加  
②読みやすい紙面づくりの  
企画と、創意工夫はあるか  
③記事は住民に分かりやす  
い文章、用語、表記になっ  
ているか。

④レイアウト・写真・イラ  
スト・図表等の活用はどうか  
⑤インターネット・ホームペー  
ジの活用。

議会広報も、努力を怠る  
ことはマンネリ化につながり  
関心も持たれなくなってい  
まいます。このことを自覚  
しながら、議会と住民の架  
け橋となる議会広報編集に  
委員一同が積極的に取り組  
んでいくことを心した、有  
意義な議会広報研修会でした。  
（副委員長 河住保茂・記）

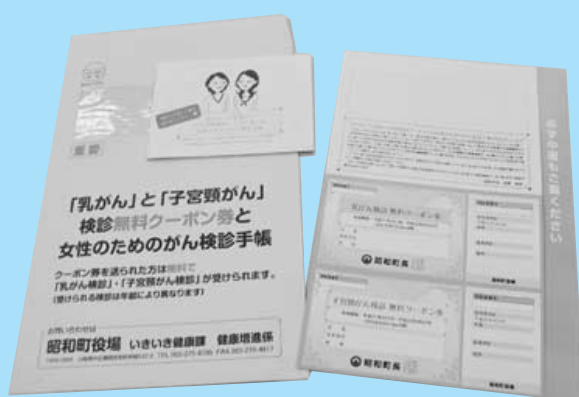
## 第3回 臨時会

### 一般会計補正予算（第2号）

補正額 565万円

#### 【主な内容】

国の補正予算による経済危機対策の一環である「女  
性特有のがん検診推進事業」に伴う予算対応。全額  
国の補助で今年度限りの事業。がん検診受診率50%  
を目標として、受診を促すために、がん検診クー  
ポンを該当者に個別に送付するなどの推進事業費  
507万円が主なものです。 全員賛成で可決。



該当者に配布された「がん検診クーポン券」

# 追跡

## あの一般質問は どうなった？

増加する滞納者に対する対策は。

現時点でも町税・国保税・下水道使用料・給食費などに、滞納が見られます。

### 町の将来は、税の徴収が基本です

(平成19年12月議会・平成20年9月議会 質問者:樋口敏夫議員)

**問** 18年度決算で、町税・国民健康保険税・介護保険料・下水道使用料等を含め、約1億600万円、19年度決算でも約9,200万円の不納欠損が出ています。町に納められるすべての徴収をする組織の新設が急務ですが、町の考えと対策は。

**答** 行政サービスの提供には資金が必要です。滞納の種類や件数も増え、今年度は国税還付金や預貯金の差し押えも行いました。増加する滞納者に対し、納税者の公平公正を確保するには、現状では十分とはいえない状況ですので、山梨県地方税滞納整理推進機構との連携による職員の専門性、滞納処分にかかる事務量の増大も検討した中で、収納課等の設置を考えていかなければならないと思っています。



滞納により差し押さえられた車  
タイヤロックにより使用できません

その後

収納課は幅広い税等の徴収や滞納処分等の事務を行うため、専門性の高い事務でもあるので、平成19年12月以降、早期の収納課の設置を検討してきました。

結論

収納課設置には、5～6人の職員配置が必要で、それぞれの課にも当年度の税等を取り扱う職員が必要です。地方分権による県からの事務移譲による事務量の増大や、職員定員管理など、さまざまな問題を抱えています。収納課設置には、しばらく時間をいただきたいとのことです。



税の徴収に取り組む税務課

# 住民と議員の対話集会

## 井戸端会議

議会が住民に信頼される民主的なまちづくりを実践し、効率的な行財政運営を図るには、議会と町民との連携が必要です。地方分権の推進で、自己決定と自己責任が拡大し、まちづくり政策決定過程での住民参加が重要です。

議会の監視機能や政策提言活動など、地域の皆様に直接報告・説明し、町政に関する情報の提供や、議会活動に対する批判や意見、提言などを直接聴取する機会として、活力ある発展に資する趣旨で開催するものです。

全体協議会で問題解決にむけて知恵を絞っています



### 井戸端会議の趣旨

- 1、民主的なまちづくりを実現するため、町政の情報を住民に提供し、共通認識で町政の関心を高めていただきます。
- 2、町政情報を共有し、住民参加によるまちづくりの環境整備に役立てます。
- 3、真に町民に役立つ議会づくりと、町民の声を聞き両者の距離を縮める役割を持っています。
- 4、議会の説明責任を果たす機会と位置づけられます。
- 5、議員は町全体の実態把握と、代弁者としての意識を高める機会となります。
- 6、議会の権能や権限、議会と町の関係など、理解を深める機会とします。

### 次の開催予定

- 10月1日(実施済) 西条二区  
10月28日(月) 紙漉阿原区  
11月14日(土) 上河東区

ぜひ、ご参加ください。



## 第4回井戸端会議（押越区）

太陽光発電などの先進地、  
目標数値を明確にして！



おもな  
意見・要望

と  
議会の対応

7月18日  
押越区公会堂

出席者 押越区民31人  
参加議員6人  
総務常任委員会 福島正明委員長

**Q** 町のエコ対策は何か、全戸に温水器の設置や、モデル地区をつくる考えは。

**A** 風力発電装置の設置や、生ゴミの堆肥化などの提言を行っています。

**Q** 押原公園周囲の街灯は太陽光発電だが、普通の街灯を導入してほしい。

**A** 天気に左右されるので、公園完成までに担当課に議会として要望したい。



太陽光と風力発電による街路灯

**Q** 公園駐車場はイベント時に違法駐車がある。広げる考えは。

**A** 公園建設委員会で要望し、協議する。

**Q** 中央高速のバス停が汚く、イメージが悪い。

**A** 管理事務所に問い合わせたが、バス停は現地を見て対応するとのこと。

**Q** コンクリート会社の二次製品が積みれ、危険なので対応してほしい。

**A** 所有者が決まり次第、再度要望する。業者に移動をお願いしたい。

**Q** 畑が渴き困る。現在の取水状況は。

**A** 6～9月は渇水期、担当課で渇水状況調査していく。

**Q** 昭和町は太陽光発電など先進地だが、目標数値を明確にし、夢のある日本一の町をつくってほしい。

**A** 町民との協働で、指標や目標値を精査し、課題解決に取り組みたい。



道路沿いのコンクリート製品



西条小の屋上には  
ソーラー設備

# 第5回井戸端会議 (西条一区)

西条・昭和インター線の  
要望後の対応は

7月21日  
彩の広場管理棟

出席者 西条一区民50人  
参加議員5人  
産業土木常任委員会 野中敏美委員長

おもな

意見・要望

と  
議会の対応

**Q** 山梨学院大学との提携で、議会改革の取り組みは。

**A** 議員が知識を学び、町民の意見・要望を提言できる勉強会をしています。

**Q** 少子化対策のため婚活に政策支援をしてほしい。

**A** 窓口である社会福祉協議会の意見を聞き、活性化に向けて支援します。

**Q** 国道20号線のガソリンスタンド前は、子どもの横断が危険だが、

**A** 現在の通学路を選択したが、児童に指導する。

**Q** 西条・昭和インター線のその後の状況は。

**A** 調査費を計上し設計に入っている。5年後位をめどに完成予定。

**Q** 押原公園全体の進捗状況は。

**A** 公園整備工事を2億円計上し、計画どおり進んでいる。

**Q** 昭和高校グラウンドの砂が飛散し、迷惑している、対策は。

**A** 学校から、県の施設課に砂の入れ替え、防砂ネット等の設置を要望するとの回答があった。この件は、樋口議員が一般質問しました。

(14ページ参照)



町づくりに関心をもつ学生150人に昭和町を紹介

**Q** 一般道路に犬のフンが多い。対策はないか。

**A** 犬の登録数は1132頭。集団注射の際にマナーを守る文書を添えお願いしている。更に、広報や回覧等で啓蒙し、地区環境保健委員の協力をいただき改善するよう努力する。



# イオンモール出店後の 治安・安全に配慮してほしい



## 第6回井戸端会議（河西区）

おもな

意見・要望

と

議会の対応

7月23日  
河西区公会堂

出席者 河西区民20人  
参加議員6人  
教育厚生常任委員会 保坂明子委員長

**Q** イオンモール出店で治安・安全の悪化が懸念される。対策は。

**A** 警察・県・町関係各課と協議、企業は地域の防災・防犯・交通安全対策の地域貢献活動計画書を作成中です。

**Q** 大林公園には避雷針があるのか。

**A** 町内の公園には避雷針はない。

**Q** 生垣の設置に補助をしてほしい。

**A** 生垣には町推奨以外の樹木にも補助があり、ブロックの取り壊し経費にも補助がある。

**Q** 大川を子どもが遊べる公園のような川辺にしたい。

**A** 公園的な川辺の整備は予定に入っていない。

**Q** 自然を残すため、大きい木は伐採せず残してほしい。

**A** 住民の要請や電線に影響がある場合、**剪定を行っている**。個人の敷地内の樹木は、個々の事情により難しい。

**Q** 常永の変電所付近にゴミの不法投棄が多い。

**A** 看板の設置や、パトロールの増員配置で強化している。

**Q** 町の借金ほどのくらいか。豊かな町といわれるが、将来が心配だ。

**A** 町の借金は約126億円で、1人当たり総額約75万円です。経済不況で税収は厳しいが、事業見直しや行財政改革で経費削減に努めている。



河西区ボランティアによる剪定作業



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む  
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

## 紙漉阿原に住んで 思うこと



紙漉阿原区

石田とめ子さん

私たち家族は、27年前に紙漉阿原に引越してきました。当時はポツンポツンとしか家が建っていないで、周りは田園風景でした。それが、たちまち家が建ちならび、アパートが新築され、すっかり様変わりしました。区画整理事業が1987年ごろから始まり、ここ数年道路の工事で変化しつつ、住宅と農園が住みやすく整理され、私たちはその便利な道路を、車で行き来しています。

区では今川ふれあい祭り、今川の河川清掃獅子舞い、どんど焼きなど、多くの行事を行っており、また、最近完成した沼公園は区民の憩いの場・学習の場として活かされています。

わが家では、一坪農園を3年前から利用しています。手作りの新鮮な野菜をいただき、町民との交流を通して、野菜作りから学ぶことができるので、これからもやっていくつもりです。

また、立派な町民体育館で、卓球の愛好者たちが汗を流し、県の大会や全国大会に参加しています。これからも、ますます地域と町が一体となって、より良い環境に発展し、人々が住みよいと感じられる町になりますように、と願っております。

## 大好きな昭和町



西条二区

石原 政信さん

昭和町に住んで40年。就職や結婚等で昭和町を離れることも考えましたが、昭和町の住み心地以上の町はないと思いました。

子どものころはどこを見ても、田んぼや畑が多く、学校も小中学校が1校ずつの小さな田舎町でした。今では、大型スーパーや道路整備が進み、昭和町へのアクセスも大変良くなり都会化されました。甲府盆地の中心として、また、山梨県の中心といってもおかしくない地理上の町ですので、都市化の波は想像以上の速さで来ているのかもしれない。しかし、近所ではホテルが見られたり、子どもと公園に散歩中あいさつを交わしたり、昔からの地区行事が継続していることなど、誇りに思っています。

これからも人口が増加すると思いますが、新旧住民、老若男女問わず、昭和町の伝統文化を存続できるよう、お役に立ちたいと思います。また、住民と行政が今以上に、身近に感じられる町になることを願っています。

「都会だけど田舎」、そんな昭和町が私は好きです。

## 編集ノート

落ち葉が散りはじめ、秋の深まりを感じる季節になりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

私たちは議会広報編集委員は、東京都で開催された全国町村議会広報研修会に参加し、勉強してきました。

砂防会館の研修室には、全国から大勢の議員が集まり、熱気の中での研修は、久しぶりに学生に戻った気分でした。

他町村の広報誌を幾冊か見ましたが、昭和町の議会広報誌は、全国的にも決して見劣りはないと、自負心で帰路に着きました。この研修を生かして、議会広報を作っていくたいと思いますので、お気軽にご意見やご感想をお寄せ下さい。

(保坂 明子・記)

## ○広報編集委員会

|      |            |
|------|------------|
| 委員長  | 河田あけみ      |
| 副委員長 | 河住 保茂      |
| 委員   | 萩原 馨 保坂 明子 |
|      | 野中 敏美 塩澤 浩 |

## 議会を傍聴 しませんか

次回定例会は  
**12月8日**  
開会予定です

議会事務局 ☎275-8842  
(海野・佐藤)